

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザデザインビルド型小規模ESCO事業				会計	款	項	目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課					
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり			主管課長	渋谷 俊之				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	施設利用者	意図	施設内の空調や照明、機械設備等をESCO事業により設備更新し、快適で安定した施設環境を提供するため。
事業内容	・ESCOサービスの提供を受けることにより、施設内環境の向上、環境負荷の低減や光熱水費等の効果的な削減を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	・平成29年度にESCO事業におけるコミュニティプラザ施設内の空調や照明等の更新工事を実施し、平成30年度からESCO事業サービスの提供を受ける。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	削減検証額			2,408,093	
②	年間光熱水費			4,089,549	円	↓↓↓	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
削減保証額は1,756,427円で、平成30年度削減検証額は2,408,093円と上回っていることから、削減が達成されています。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			6,602,692
事業費(b)(円)			6,435,402
うち一般財源			6,435,402
職員給与費(c)(円)			167,290
人役・職員(人)			0.02
人役・再任用(人)			0.01
人役・臨職(人)			0.01
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			13

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成30年度から始まるESCOサービスの提供を受けることにより、光熱水費等の削減を図る。	③取組における課題(Check)	目標削減率が達成できたので、特に課題は無い。
②H30に実施した取組(Do)	施設全室の空調が事務室で一括管理できることになり、温度設定や空調の消し忘れの確認でき、節電に努めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	平成30年度はESCO事業導入後、初めての検証において削減が達成できたことから、引き続き、環境負荷の低減及び経費の節減に努める。